

令和4年6月29日

福津市議会

議長 江上 隆行 様

予算審査特別委員会

委員長 米山 信

予算審査特別委員会審査報告書

令和4年第4回福津市議会定例会において、本委員会に付託を受けておりました案件についての審査結果を、会議規則第110条の規定により報告いたします。

記

1. 事件名

◎ 議案第33号 令和4年度福津市一般会計補正予算(第1号)について

2. 審査経過

◎ 付託年月日 令和4年6月14日

◎ 審査年月日 令和4年6月23日

本議案は、全員の議員をもって構成した特別委員会で慎重に審査したため、詳細については省略。

3. 審査結果

◎ 議案第33号 令和4年度福津市一般会計補正予算(第1号)については、全員賛成により原案のとおり可決すべきものと決定した。なお、本委員会は議案第33号に対し、別紙のとおり付帯決議を付すことに決定した。

(別紙)

議案第33号 令和4年度福津市一般会計補正予算(第1号)に対する付帯決議

〔提案理由〕

教育費において、新設校に関する基本計画に基づき、10款2項教育費小学校費の小中学校校舎施設整備事業費として、小学校の土地鑑定委託料等の委託料46,145千円、10款3項教育費中学校費の中中学校校舎施設整備事業費として中学校の土地鑑定委託料等の委託料47,283千円がそれぞれ増額計上されている。

新設校を小学校1校、中学校1校建設するために土地の鑑定、候補地の測量、用地補償調査をするための予算として計上されているものだが、議会においても一般質問等で度々取り上げられてきたとおり、部分的な予算を段階的に計上するだけでは、将来にわたる市全体の財政見通しが不透明であり、予算の可否を判断する材料が非常に乏しい状況だと言える。

小学校、中学校の過密化の状態から、児童・生徒や保護者、学校現場のことを思うと、議会としても一刻も早く解消の道筋を示すべきだと考えているが、そのために学校の安全性や児童・生徒の保護者、地域住民への説明、コミュニティ・スクールや郷づくりの枠組みを疎かにしてはならないし、何より福津市が将来にわたり安定した財政状況を保つことが肝要だと考える。

以上の理由から、下記のとおり付帯決議を提出する。

記

- ・新設校を含む市全体の財政見通しを策定し、議会に対して説明責任を果たすこと
- ・新設校及び通学路の安全安心が担保されること
- ・児童・生徒の保護者、地域住民、議会に基本設計をする前までに説明及び周知を図ること